

# 大会実施要項

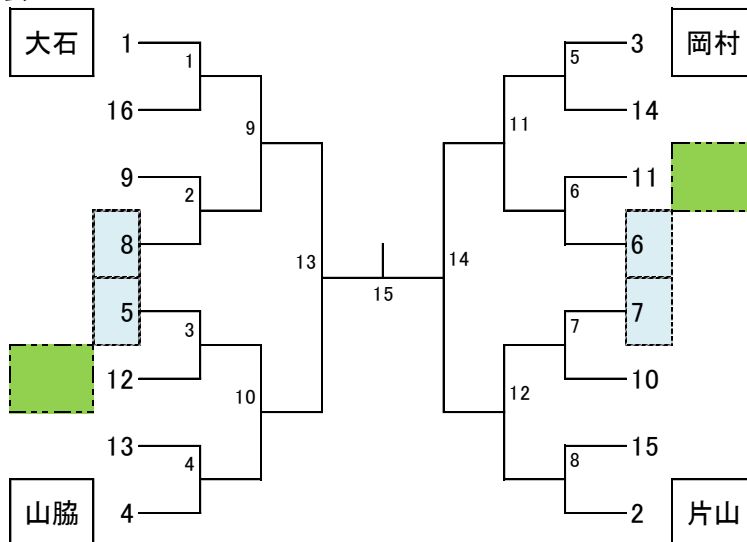
## 1 組み合わせについて

県内の小学生大会にあたっては、次の方法を基に行う。

### 1) シードする人数(シングルス)・ペア数(ダブルス)・チーム数(団体)

- ア. 4以下の場合は、2本をシードする。
- イ. 5～16の場合は、4本をシードする。
- ウ. 17～50の場合は、8本をシードする。
- エ. 51～100の場合は、16本をシードする。
- オ. 大会ごとに参考にする大会名を要項へ記載する。
- カ. ダブルスは同じペアを優先し、異なるペアは次のシードで考慮する。(異なるペアは、シングルス上位の選手を優先する)
- キ. シードする場合は、参考にする大会と同じ対戦は避けるが、他は同一所属のみを考慮する。

### 第11回大会



第10回大会
1位 大石
2位 片山
3位 岡村
4位 山脇

#### 【桃田くんのケースの扱い】

参考にする大会に不参加の実力者や他県からの実力ある選手参入等の配慮が必要な選手は、シード選手を守る観点から11シードの裏、もしくは12シードの裏付近に入れることを原則とする。

第9回大会
1位 桃田
2位 岡村
3位 片山
4位 大石

#### 【学年が混在する場合】

ABC予選のように学年が混在する場合は、参考にする大会の下級学年の1位から4位までを5～8シードに入れることを原則とする。その際、上級生、下級生の1位による準決勝での対戦を回避する為、下級生1位→6シード・2位→5シード・3位→8シード・4位→7シードを原則とする。

## 2) シード外について

- ア. 同一所属は、分散させる。
- イ. その他は、考慮しない。